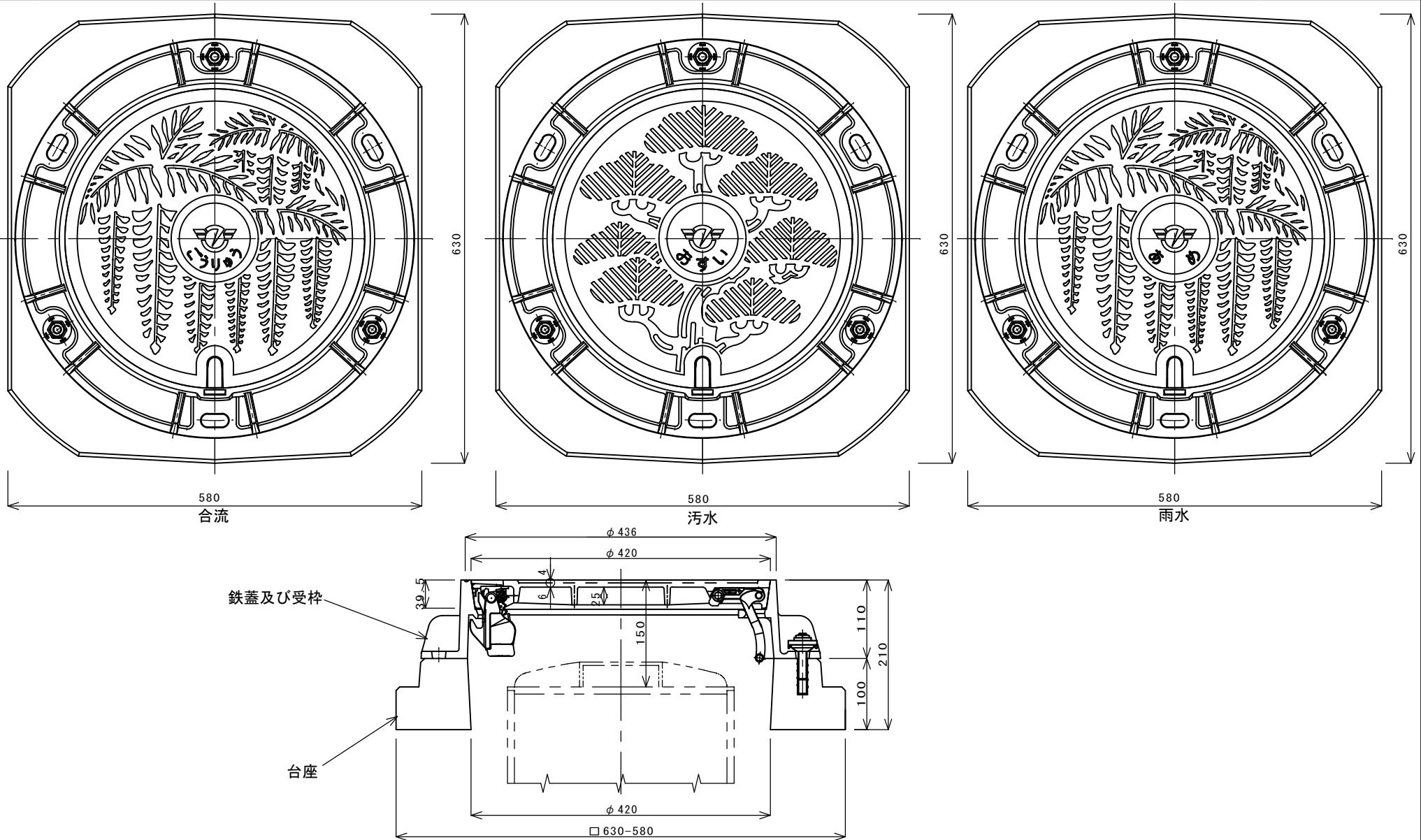


図名

藤沢市型下水道用鋳鉄製防護蓋及び台座（合流・汚水・雨水） φ300用 T-14（参考）

藤沢市12-1



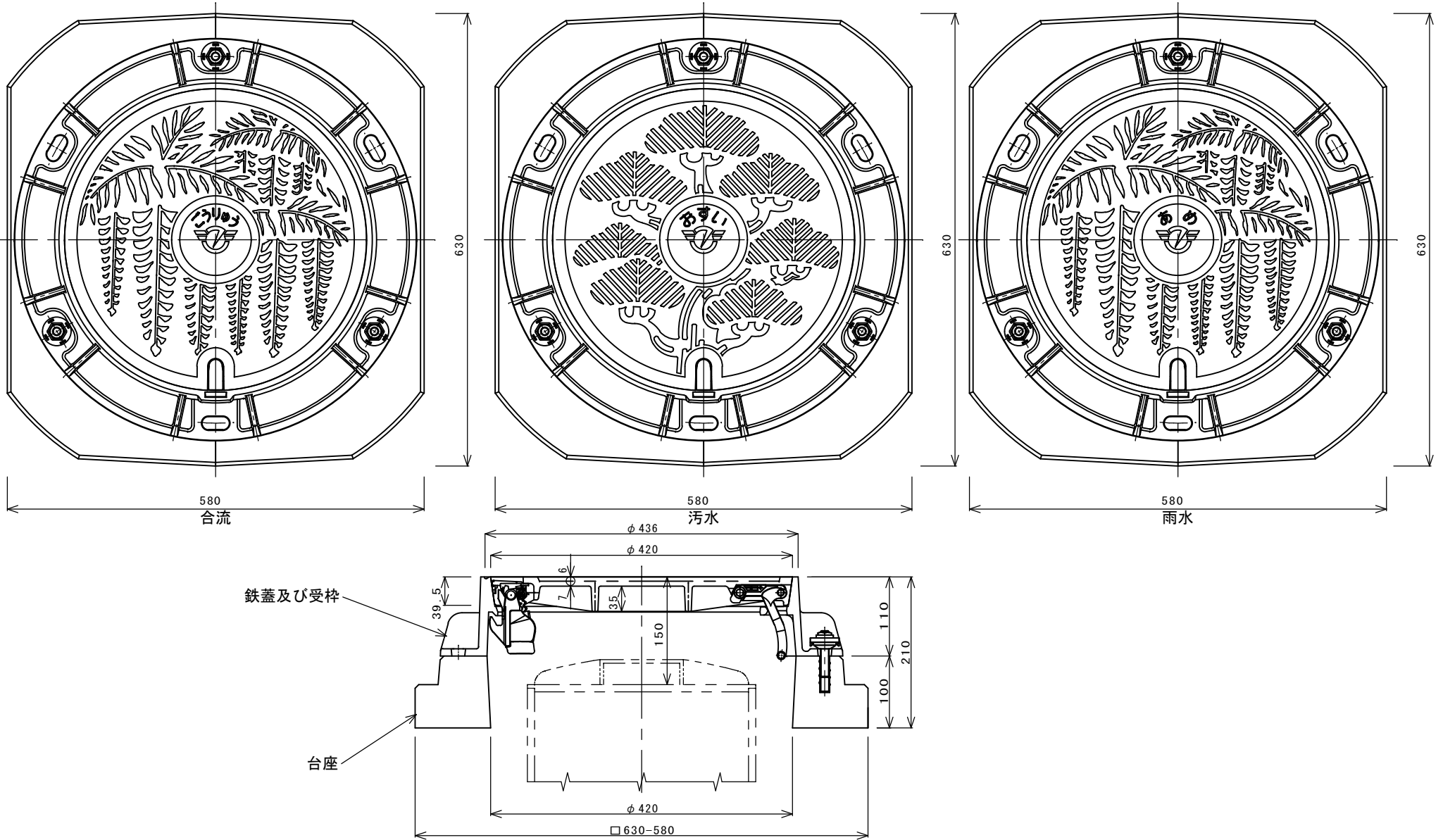
・藤沢市の認定を受けた工場で作られた製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。

備考

図名

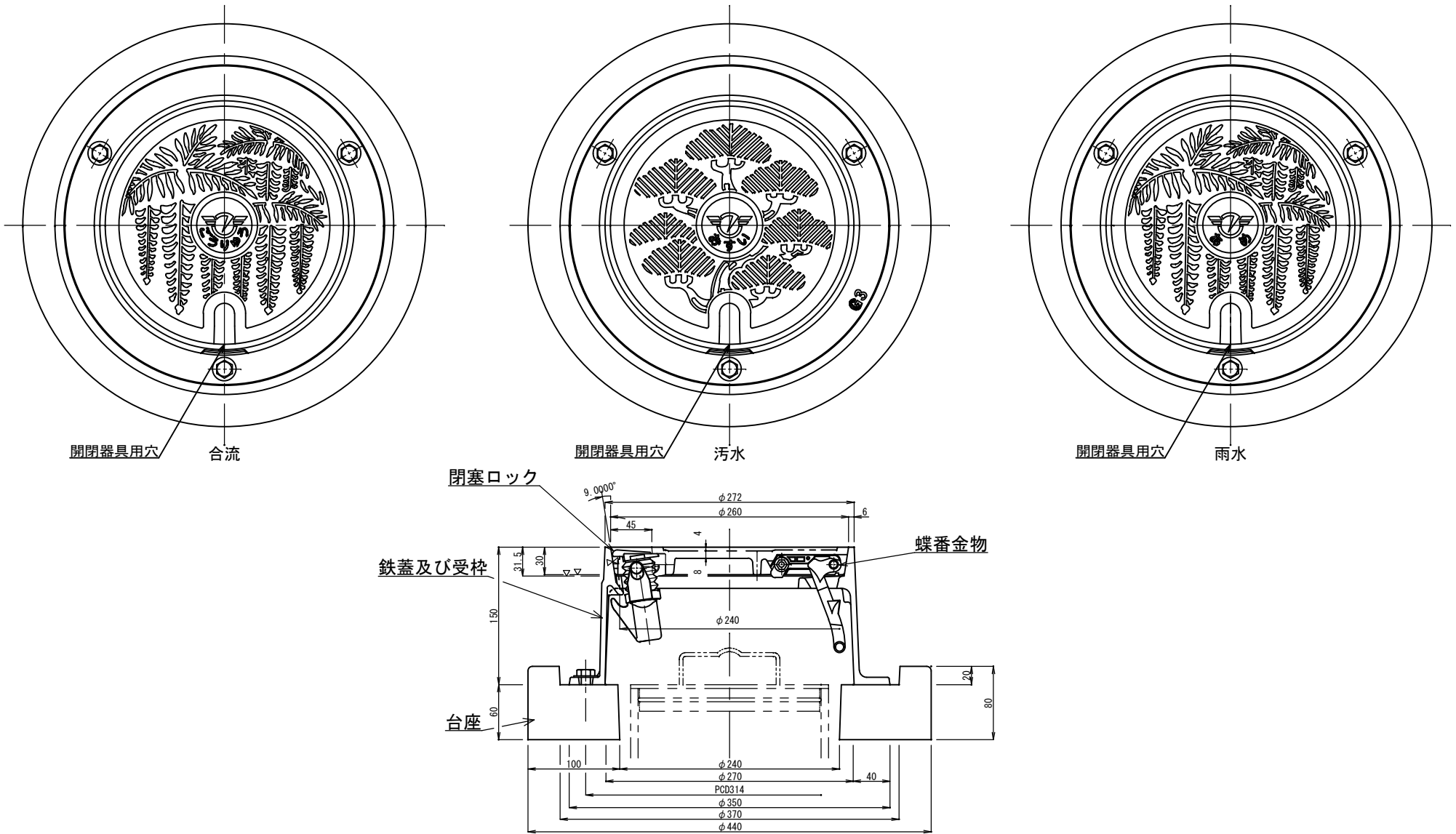
藤沢市型下水道用鋳鉄製防護蓋及び台座（合流・汚水・雨水） φ300用 T-25（参考）

藤沢市12-2

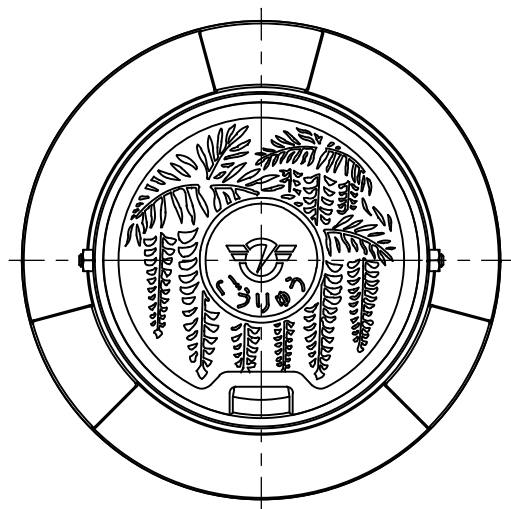


・藤沢市の認定を受けた工場で製作された製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。

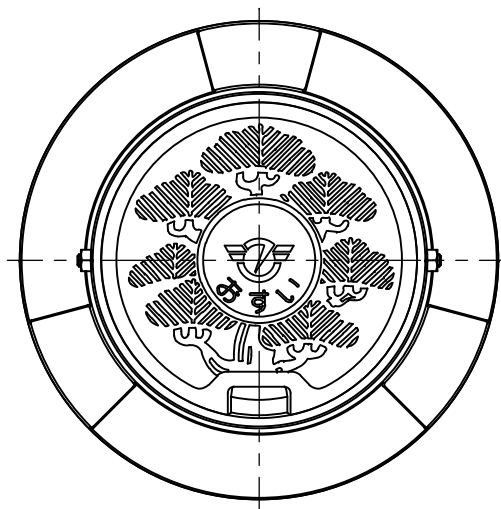
備考



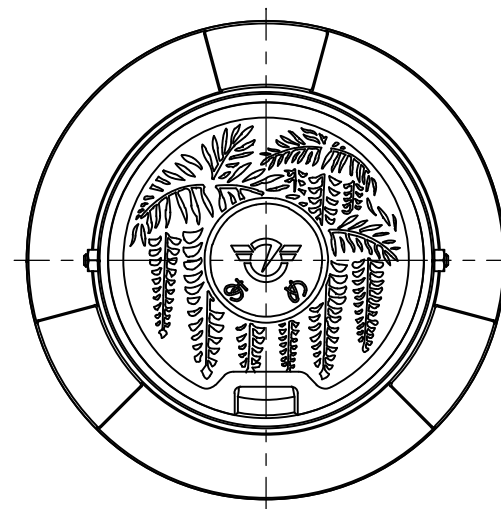
- ・藤沢市の認定を受けた工場で作られた製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。
- ・取付ます設置箇所の地盤が5.0°の勾配を超える場合は、φ300用の鉄蓋を使用すること。



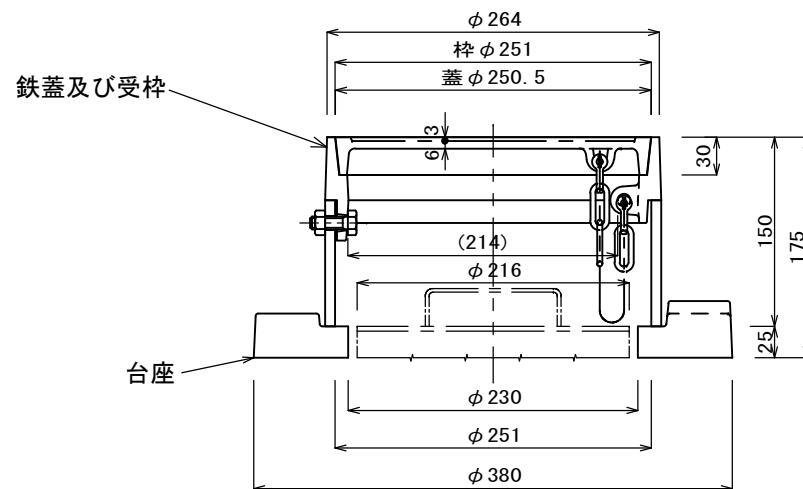
合流



汚水

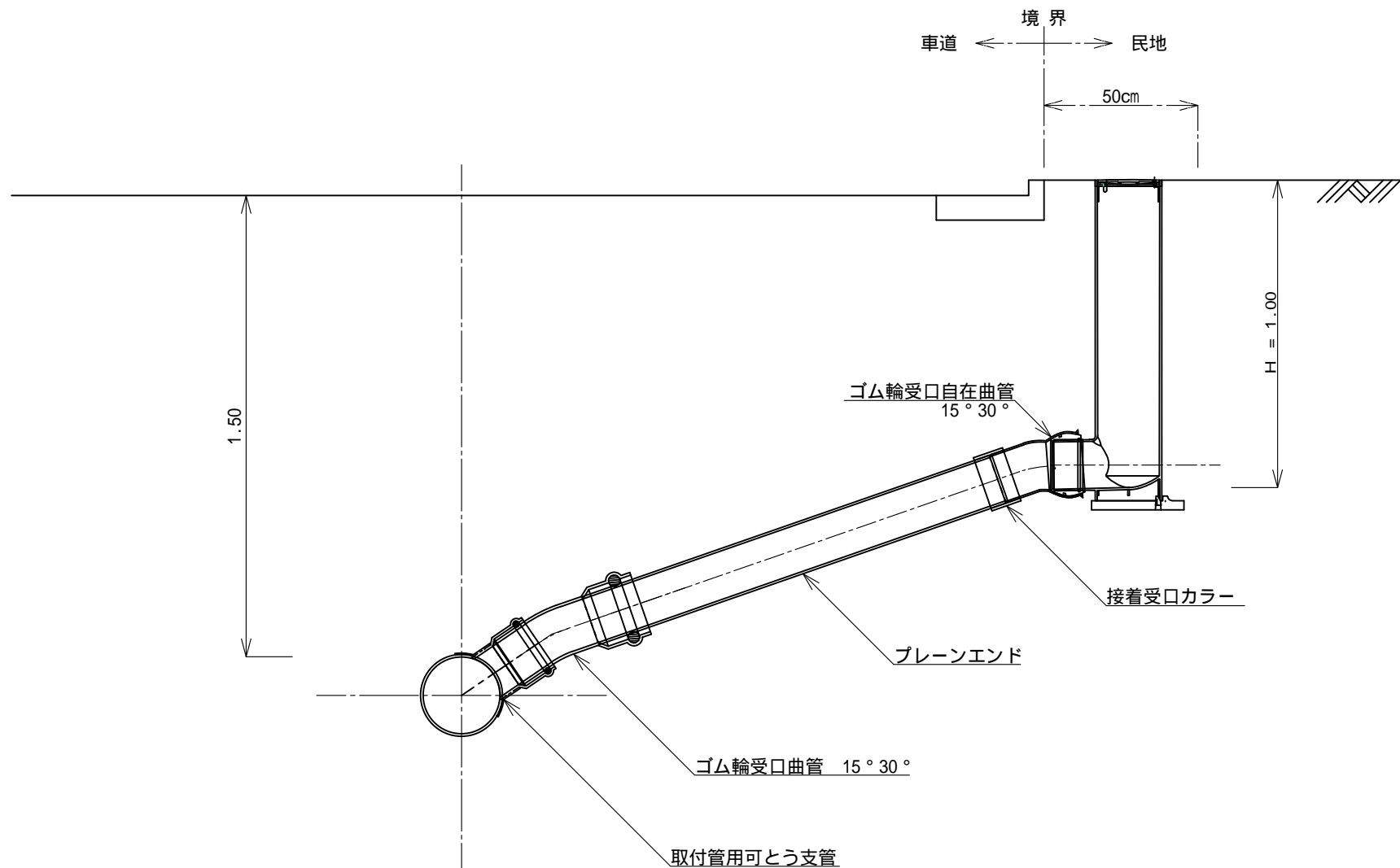


雨水

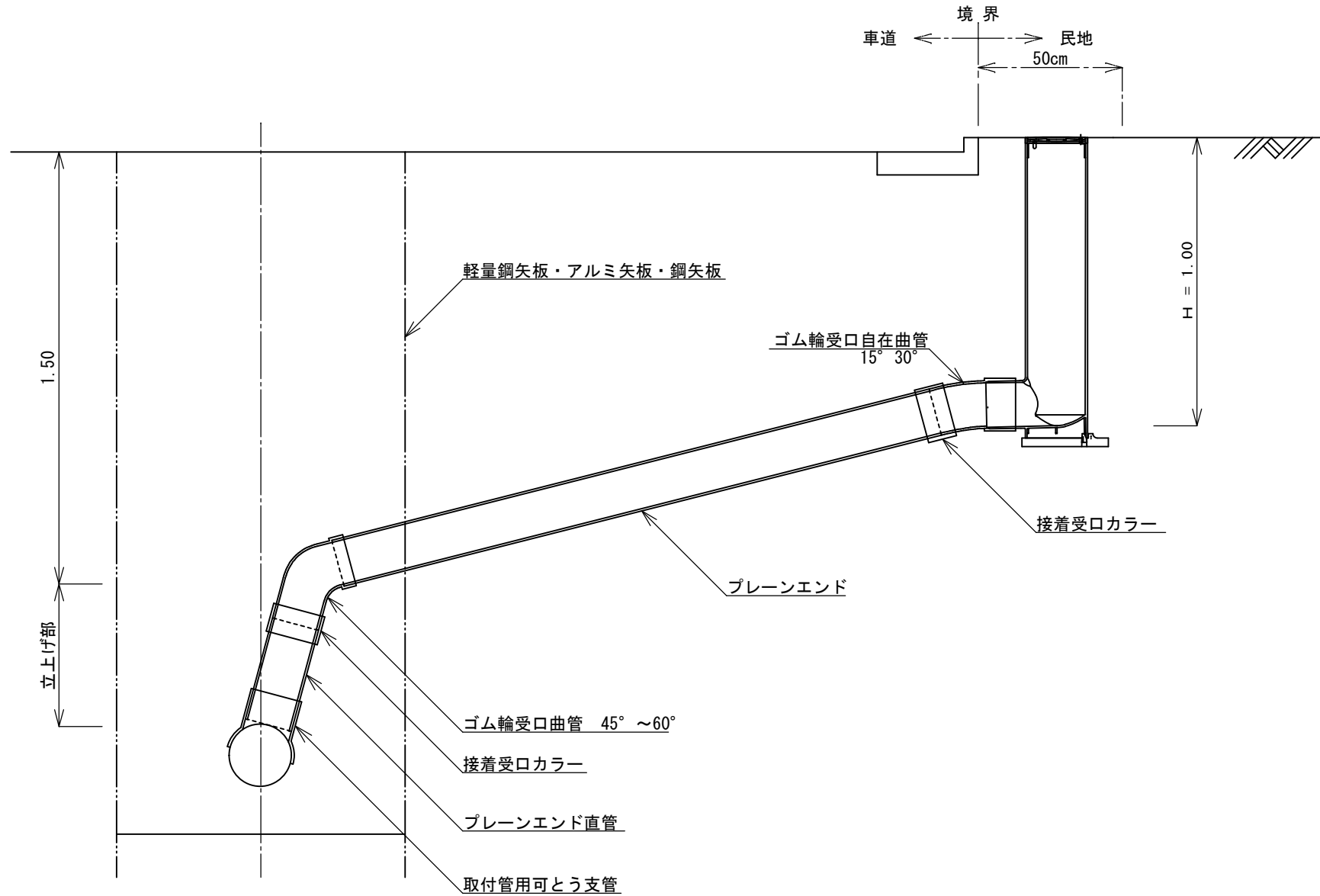


備考

- ・藤沢市の認定を受けた工場で作られた製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。
- ・取付ます設置箇所の地盤が5.0°の勾配を超える場合は、φ300用の鉄蓋を使用すること。

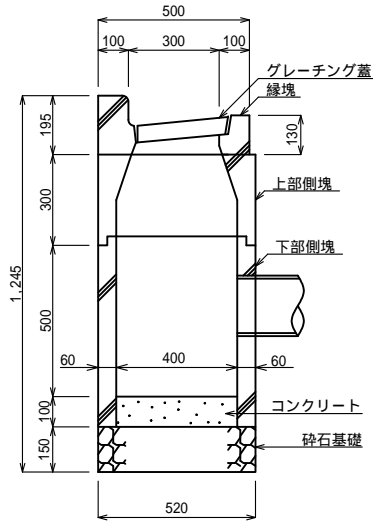


- ・取付管位置は、本管の水平方向の中心線より上方に取り付けること。
- ・占用位置については、道路管理者と協議すること。
- ・取付管勾配は10%以上にすること。
- ・取付ますについては、原則として官民境界から民地側50cm以内に設置するものとするが、民地側50cm以内に設置できない場合は下水道管理者と別途協議するものとする。

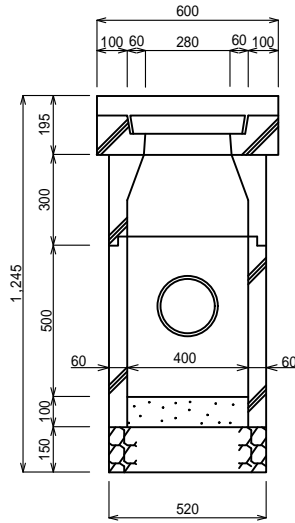


- ・取付管位置は、本管の水平方向の中心線より上方に取り付けること。
- ・占用位置については、道路管理者と協議すること。
- ・取付管勾配は10%以上にすること。
- ・取付ますについては、原則として官民境界から民地側50cm以内に設置するものとするが、民地側50cm以内に設置できない場合は下水道管理者と別途協議するものとする。

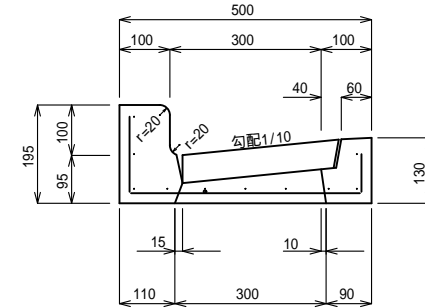
A - A 断面図



B - B 断面図



縁塊B型（300用）

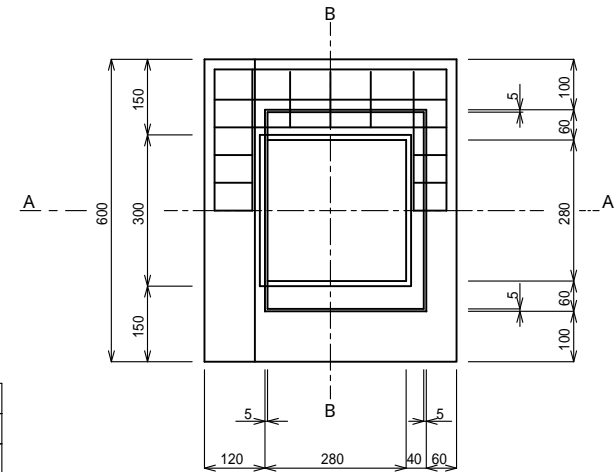


B型（300用）材料表

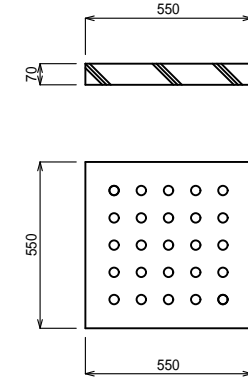
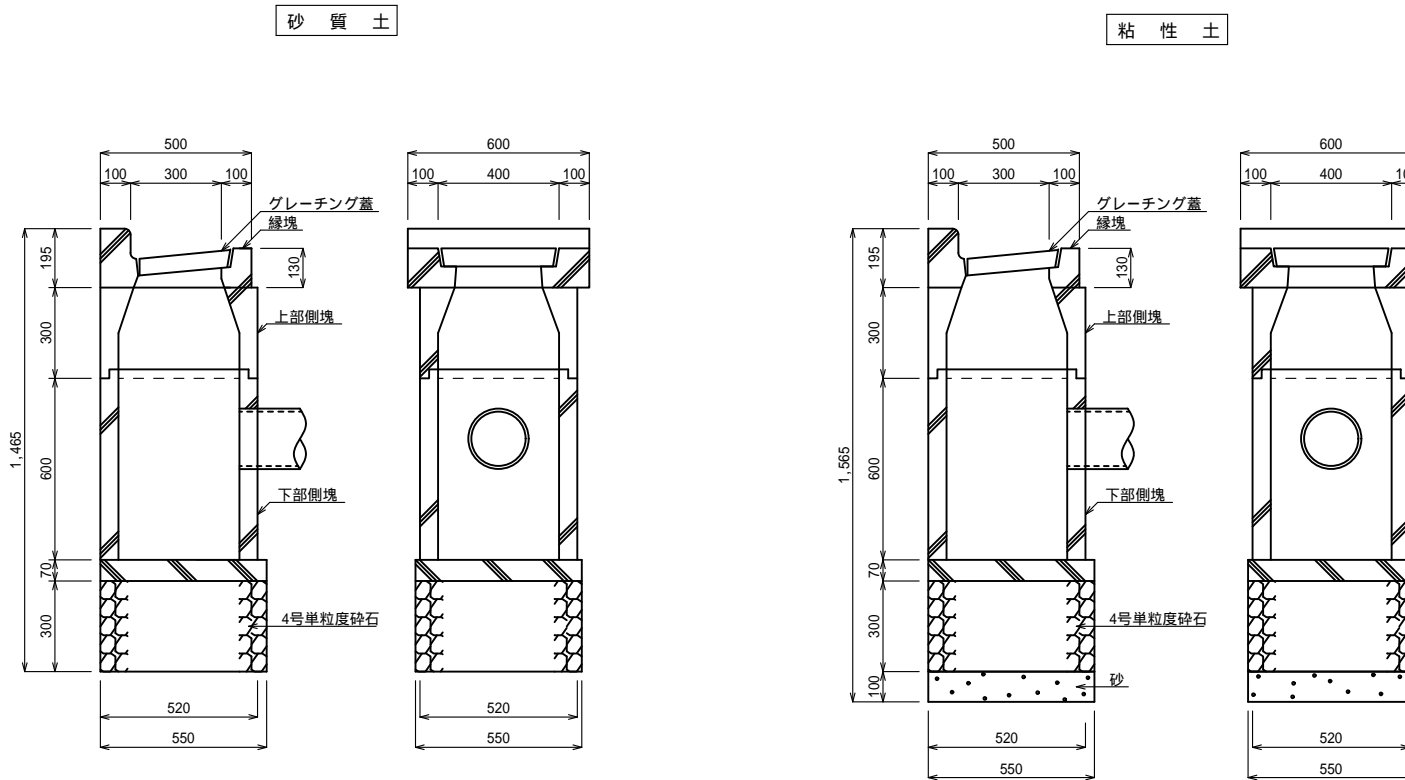
名称	寸法 (mm)	参考重量 (kg)
L型縁塊	195/130 × 500 × 600	60
上部側塊	400 × 400 × 300	93
下部側塊	400 × 400 × 600	159

雨水ます（藤沢市B型・浸透不可地域用）数量表 1基当たり

工種・名称	単位	計算式・条件等	数量
コンクリート	m ³	0.40 × 0.40 × 0.10	0.016
砕石基礎	m ²	0.52 × 0.52, t=15cm	0.270

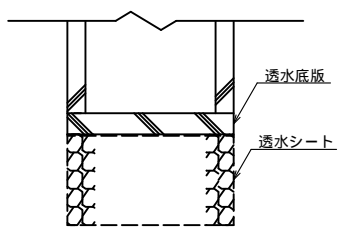


- ・グレーチング蓋に関しては、14-3参照。
- ・底部に150mm以上の泥だめを設けること。



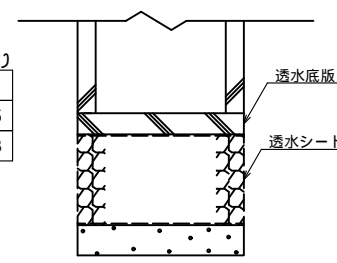
B型(300用)材料表(砂質土・粘性土共通)

名称	寸法 (mm)	参考重量(kg)
L型縁塊	195/130×500×600	60
上部側塊	400×400×300	93
下部側塊	400×400×600	159
透水底板	550×550×70	44



雨水ます（藤沢市B型）数量表（砂質土） 1基当たり

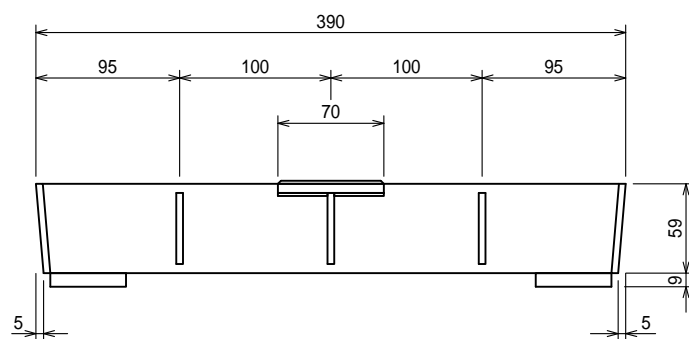
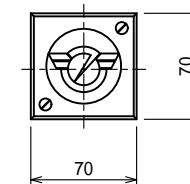
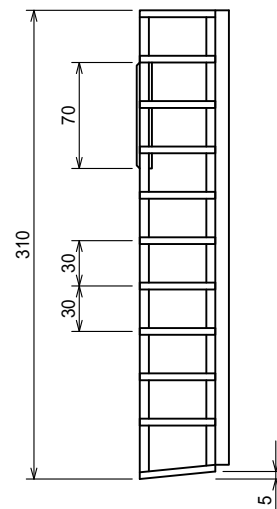
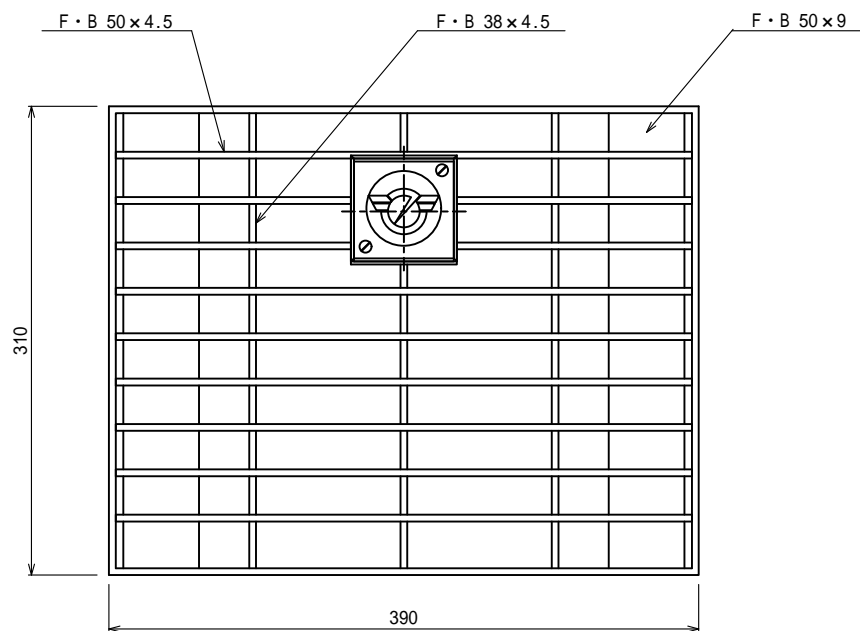
工種・名称	単位	計算式・条件等	数量
透水シート	m ²	0.55*4*0.30+0.55*0.55*2	1.265
浸透層(4号単粒度砕石)	m ²	0.55*0.55, t=30cm	0.303



雨水ます（藤沢市B型）数量表（粘性土） 1基当たり

工種・名称	単位	計算式・条件等	数量
透水シート	m ²	0.55*4*0.30+0.55*0.55*2	1.265
浸透層(4号単粒度砕石)	m ²	0.55*0.55, t=30cm	0.303
砂基礎	m ²	0.55*0.55, t=10cm	0.303

・グレーチング蓋に関しては、14-3参照



	塩ビマンホール		楕円マンホール
	0号マンホール		φ600mm スパンパイプマンホール
	1A号マンホール		特1号角形マンホール
	1B号マンホール		特1A号マンホール
	1C号マンホール		特1B号マンホール
	2A号マンホール		特1C号マンホール
	2B号マンホール		特2A号マンホール
	2C号マンホール		特2B号マンホール
	3A号マンホール		特2C号マンホール
	3B号マンホール		特3A号マンホール
	3C号マンホール		特3B号マンホール
	4A号マンホール		特3C号マンホール
	4B号マンホール		特4A号マンホール
	4C号マンホール		特4B号マンホール
	5A号マンホール		特4C号マンホール
	5B号マンホール		特5A号マンホール
	5C号マンホール		特5B号マンホール

	特5C号マンホール
	特殊マンホール
	副管付マンホール

ます記号

汚水ます

宅1号	宅2号	宅3号	車1号	車2号	車3号

雨水ます

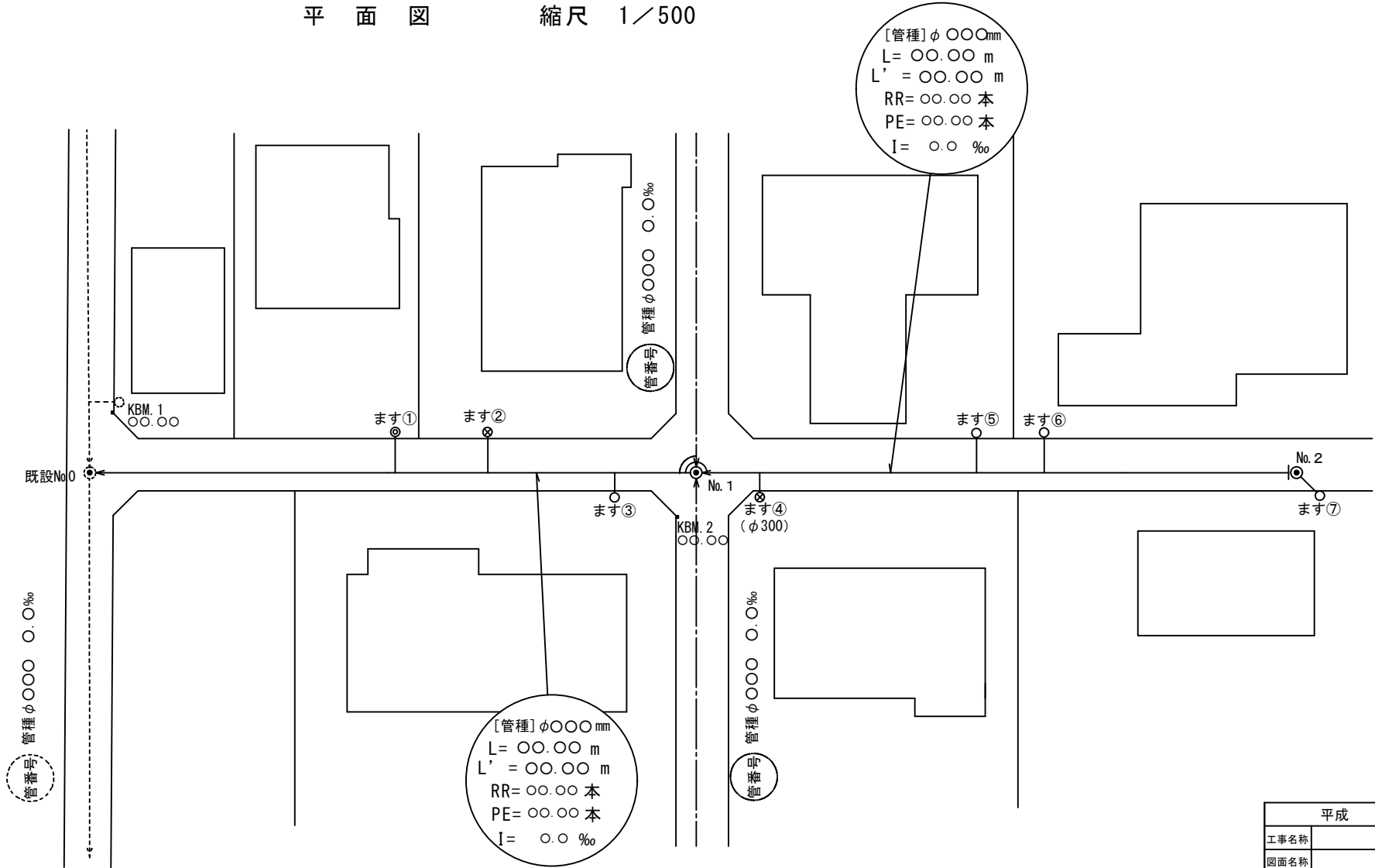
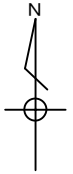
宅1号	宅2号	宅3号	車1号	車2号	車3号

雨水ます(B型)

路線種別記号

	実施路線(実線)
	計画路線(一点鎖線)
	既設路線(点線)
	縁切(起点)

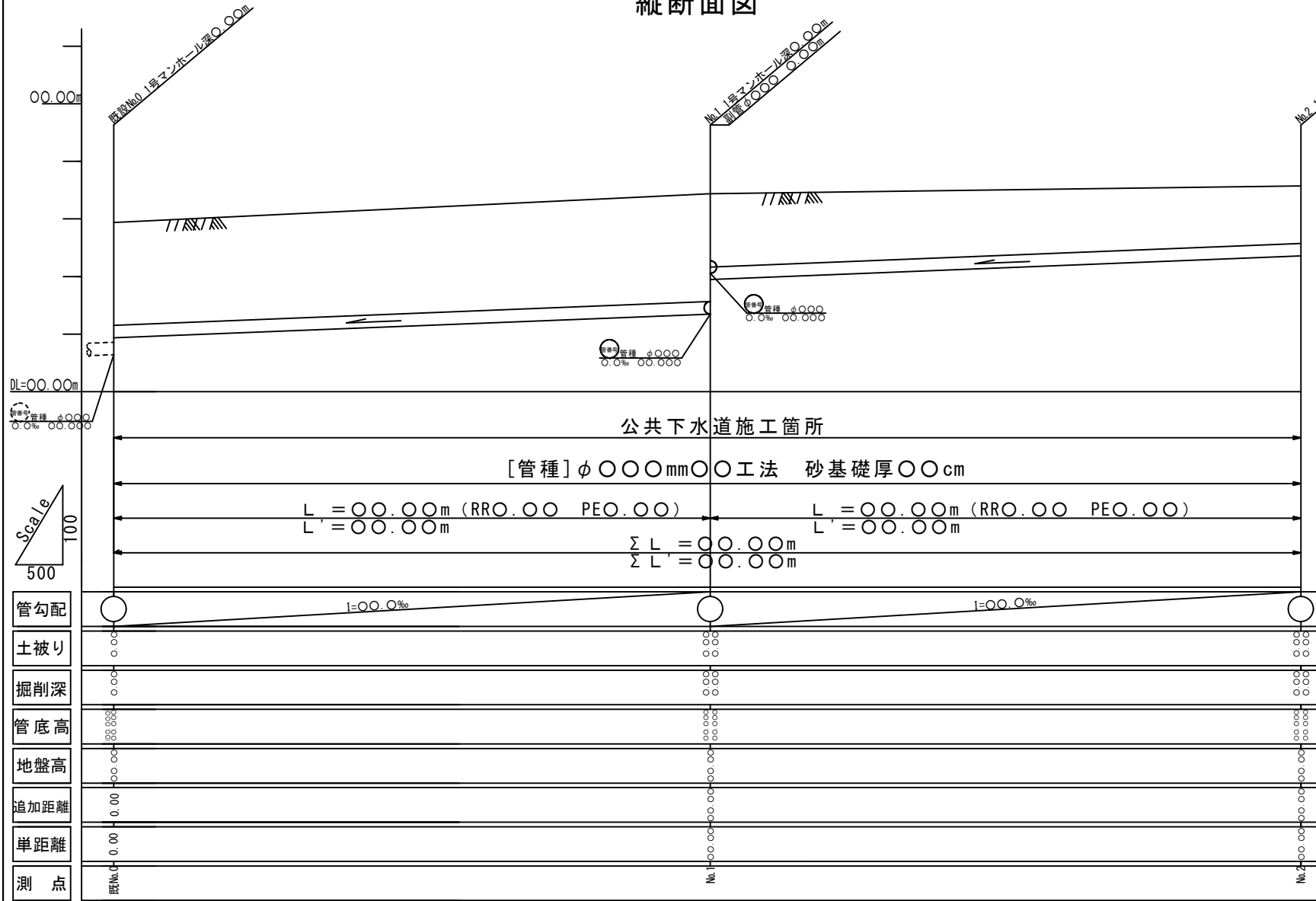
平面図 縮尺 1/500



備考

- ・縮尺は1/500を基本とする。
- ・図面上にBM又は仮BMを明示のこと。
- ・ますφ300を使用する場合は、ます番号の下端に（φ300）と記載すること。

縦断面図



平成		年度	
工事名称			
図面名称			
縮尺	図示	図面番号	/

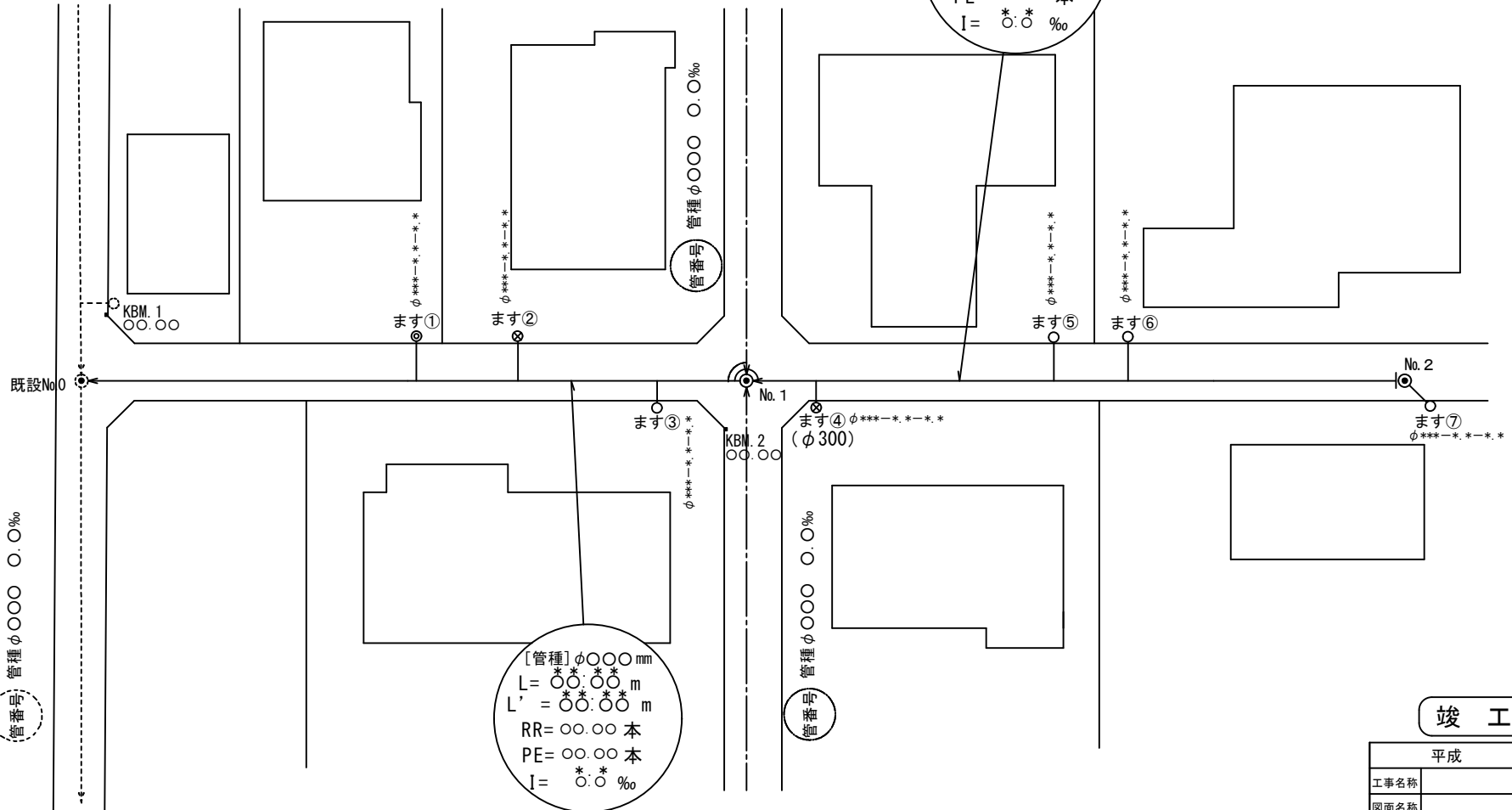
備考

- 掘削深 = 地盤高 - 管底高 + 管厚 + 基礎厚
- 土被り = 地盤高 - 管底高 - 管径 - 管厚
- L = 管きよ延長 L' = 路線延長

平面図 縮尺 1/500



[管種] φ○○○mm
 L = ○○.○○ m
 L' = ○○.○○ m
 RR = ○○.○○ 本
 PE = ○○.○○ 本
 I = ○.○ %



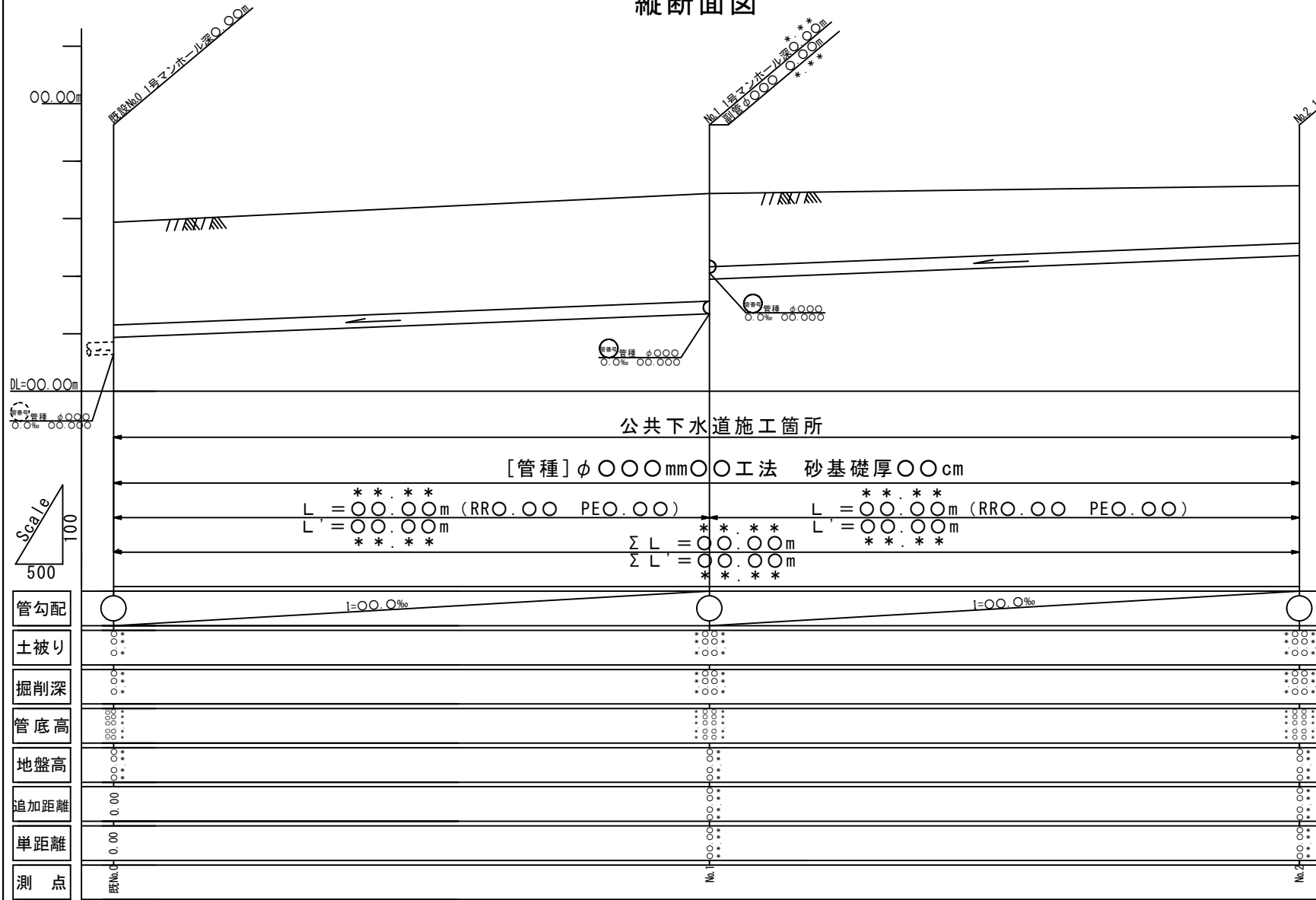
竣工図

平成	年度
工事名称	
図面名称	
縮尺	図示 図面番号 /

備考

- ・出来形実測値 (**.**) 及び施工箇所を朱書きで記入する。
- ・マンホールオフセット図を15-6のとおり作成する。
- ・取付ますについて、取付管径－取付管延長－上流マンホールから支管までの延長の順番に記入する。（例：φ150mm－3.1－25.7）
- ・変更による廃工部分は黄書きとする。

縦断面図



竣工図

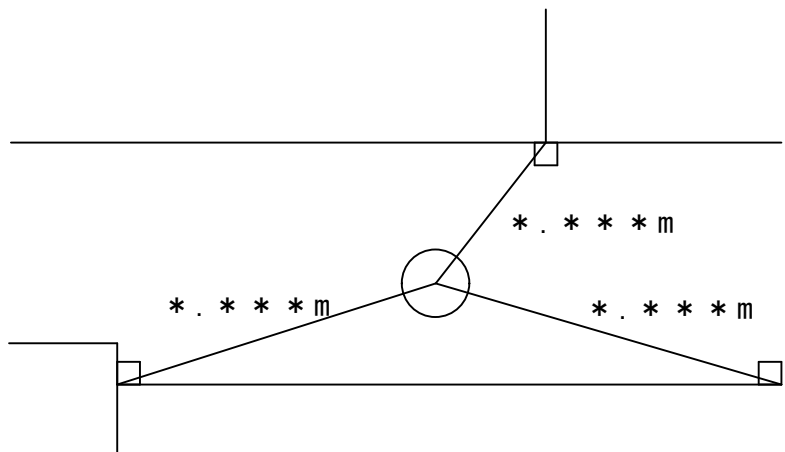
平成 年度

工事名称	
図面名称	
縮尺	図示 図面番号 /

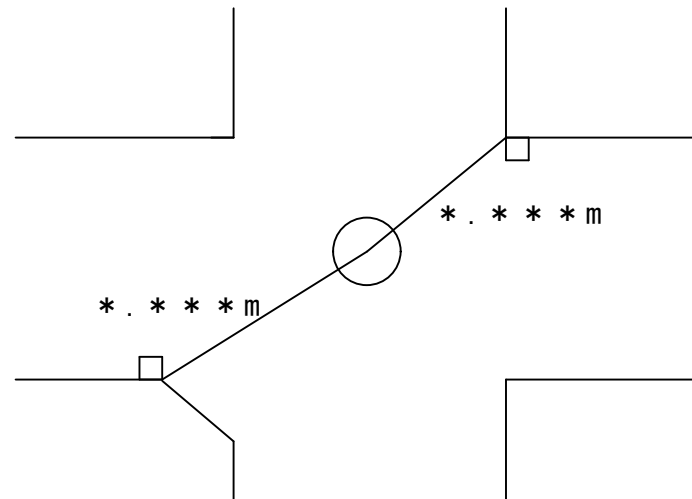
備考

- 出来形実測値 (**.**) 及び施工箇所を朱書きで記入する。
- 掘削深 = 地盤高 - 管底高 + 管厚 + 基礎厚
- 土被り = 地盤高 - 管底高 - 管径 - 管厚
- L = 管きよ延長 L' = 路線延長

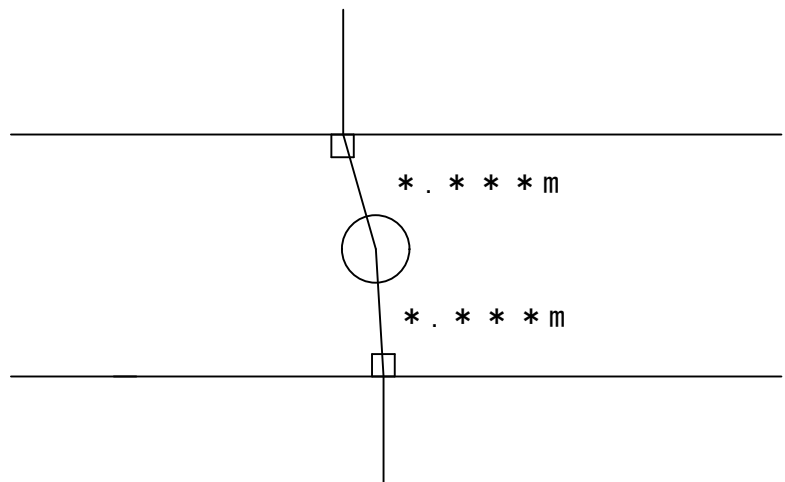
No.1



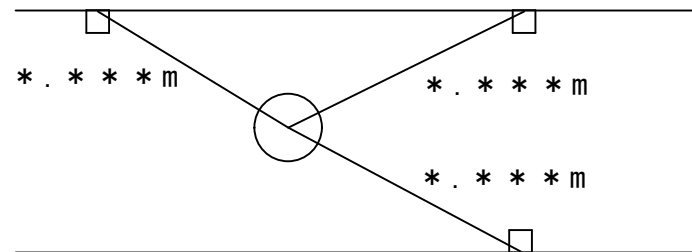
No.2



No.3



No.4



備考

・マンホール及びますのオフセットを記入する。（マンホールから周辺公共構造物の2点以上より延長* . * * *を記入する）